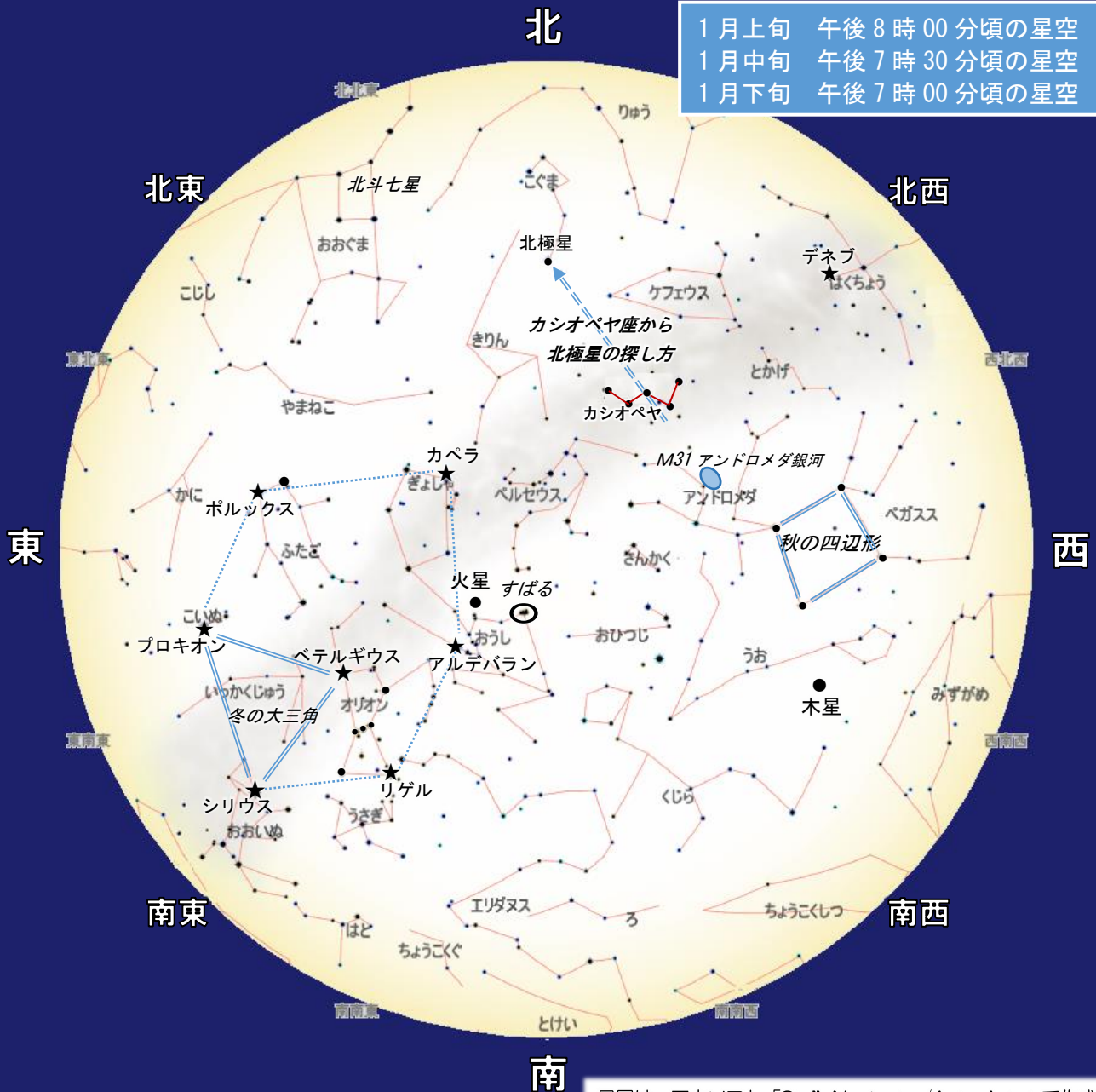


2023年 1月の星空案内



1月上旬 午後8時00分頃の星空
1月中旬 午後7時30分頃の星空
1月下旬 午後7時00分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。

【1月の星空】

東の空から冬の星座たちが上がってきます。全天で21ある1等星のうち7個が冬の星座に集中しています。特にベテルギウスとリゲル、2つの1等星をもつ「オリオン座」が有名です。真ん中の三つ星を目印に探してみてください。オリオン座の「ベテルギウス」、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」、3つの1等星を結んだ三角形を『冬の大三角』といいます。また点線(-----)で示した六角形は『冬のダイヤモンド』と呼ばれます。今年は、この近くに「火星」も明るく輝き、いっそうにぎやかです。

【M45 プレアデス星団 (すばる)】

天頂付近に、5~7個の星がぼつぼつ集まっている様子を見ることができます。散開星団M45「プレアデス星団 (すばる)」です。双眼鏡では、数十個以上の青白い星の集まりが見られます。日本では古来「すばる (昴)」、地方によっては「六連星(むつらぼし)」「羽子板星」などと呼ばれていました。「すばる (統ばる)」というのは「統一されている」「一つに集まっている」という意味です。清少納言の『枕草子』には、『星はすばる ひこぼし ゆふづつ・・・』と記されています。